

デジタルマルチメーター
EA707D-22A

◆仕様

- 動作方式…二重積分方式
- 表示…数値部:最大4000カウント
バーグラフ部:最大40セグメント
- レンジ切り替え…フルオート(V・Ω)
- オーバー表示…表示器上に"OL"と表示
- 極性切り換え…自動切換え(-のみ表示)
- 電池消耗表示…内部電池電圧が消耗し、電池電圧が低下した時、
表示器に BT が点灯
- ローバッテリー表示点灯: 約2.3V
- サンプルレート…数値部:約1.3回/秒
バーグラフ部:約13回/秒
- 確度保証温湿度範囲… $23 \pm 5^{\circ}\text{C}$ (80%RH以下結露のないこと)
- 使用温湿度範囲… $0 \sim 40^{\circ}\text{C}$ (80%RH以下結露のないこと)
- 保存温湿度範囲… $-10 \sim 50^{\circ}\text{C}$ (70%RH以下結露のないこと)
- 使用環境条件…高度2000m以下
環境汚染度 II
- 電源…アルカリボタン電池(LR-44) × 2個
- 消費電力…約3.5mW TPY(DCVにて)
- 消費電流(DCVにて)…電源V=3.0V 0.12mA ・オートパワーオフ後 9.6uA
電源V=2.5V 0.10mA
- オートパワーオフ…最終操作から約30分後に電源オフ
- 寸法・重量…76 × 18 × 117(H)mm
- 重量…約117g
- 付属品…取扱説明書
- 安全規格…IEC61010-1過電圧カテゴリ II の保護クラス II に準拠
- EMC命令…IEC61326

◆測定範囲及び確度

- 確度保証範囲… $23 \pm 5^{\circ}\text{C}$ (80%RH以下結露ないこと)

ファンクション	レンジ	確度	入力抵抗	備考
V(DCV) 直流電圧	400.0mV	$\pm (0.8\%rdg+4dgt)$	約100MΩ	
	4.000V	$\pm (1.3\%rdg+4dgt)$	約11MΩ	
	40.00V		約10MΩ	
	400.0V			
	500.0V			
V(ACV) 交流電圧	4.000V	※正弦波交流における確度 $\pm (2.3\%rdg+8dgt)$	約11MΩ	確度保証 周波数範囲 …45Hz～ 1kHz
	40.00V		約10MΩ	
	400.0V			
	500.0V			
Ω (抵抗)	400.0Ω	$\pm (2.0\%rdg+4dgt)$	開放電圧 400Ωレンジ…約-1.2V 400Ωレンジ以外…約-0.45V ※テストリード…赤: マイナス出力 黒: プラス出力 ※測定電流は被測定抵抗の抵抗値 によって変化します。	
	4.000kΩ			
	40.00kΩ			
	400.0kΩ			
	4.000MΩ	$\pm (3.5\%rdg+4dgt)$		
	40.00MΩ	$\pm (10\%rdg+5dgt)$		
導通チェック	●約35Ω以下でブザーが発音します。 ●開放電圧は約-1.2v ※テストリード…赤: マイナス出力 黒: プラス出力			
ダイオードテスト	●開放電圧はほぼ電池電圧となります。 電池電圧: 3V時、約2.9V ローバット表示点灯電源電圧2.28V時、約2.2V			

- rdg…reading(読み取り値) ●dgt…digits(最小位けた)

◆ 確度計算方法

(例) 直流電圧測定 (DCmV)

真値...100.0mV

レンジ確度...400mVレンジ... $\pm (0.8\%rdg + 4dgt)$

誤差... $(\pm 100.0mV \times 0.8\% + 4[dgt]) = \pm 1.2[mV]$

表示値... $100.0[mV] \pm 1.2[mV]$ (98.8~101.2mVの範囲内)

※400mVレンジにおける4[dgt]とは、0.4Vに相当します。

◆ 特徴



テストリード棒固定可能



家庭用電源チェック



電池点検チェック



電子部品チェック



カーバッテリーチェック



断線点検

⚠ 安全上のご注意

電気には大きなパワーがあります。感電事故を防止する為、取扱説明書をよく読んで、理解してからご使用ください。また、危険ですから、取扱説明書に書いてある使用法以外には、絶対に使用しないでください。

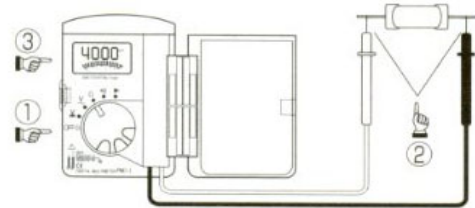
特 徴

- 携帯に便利なポケットサイズ
- テスト棒固定機能
- IEC61010-1 過電圧カテゴリⅢに準拠
- フルオートレンジ
- 4000カウントのデジタル表示と円弧バーグラフによるアナログ表示
- 難燃性ケースを使用
- テストピンは金メッキを採用

抵抗値の調べ方

①ファンクションスイッチをΩに設定します。②抵抗の両端にそれぞれ赤・黒のテストピンを接触させます。この場合、+に関係がありませんので、赤・黒のテストピンはどちらに接触しても構いません。また、抵抗は必ず回路から取り外して測定してください。③表示器に表示されている値と単位を読み取ります。

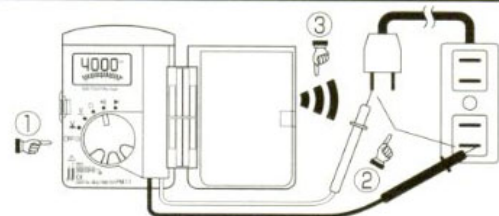
⚠警告：入力端子には電圧を絶対に加えないでください。



電気のコードが切れているかどうか？

①ファンクションスイッチをⓂに設定します。②テストピンを調べたいコードのテーブルタップとプラグに接触します。この場合、+に関係がありませんので、赤・黒のテストピンはどちらに接触しても構いません。③表示器に表示されている値を読み取ります。④プザーが鳴れば(連続音)断線していないと判断します。

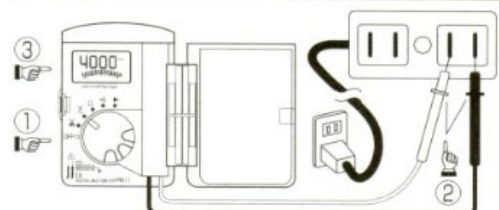
⚠警告：入力端子には電圧を絶対に加えないでください。



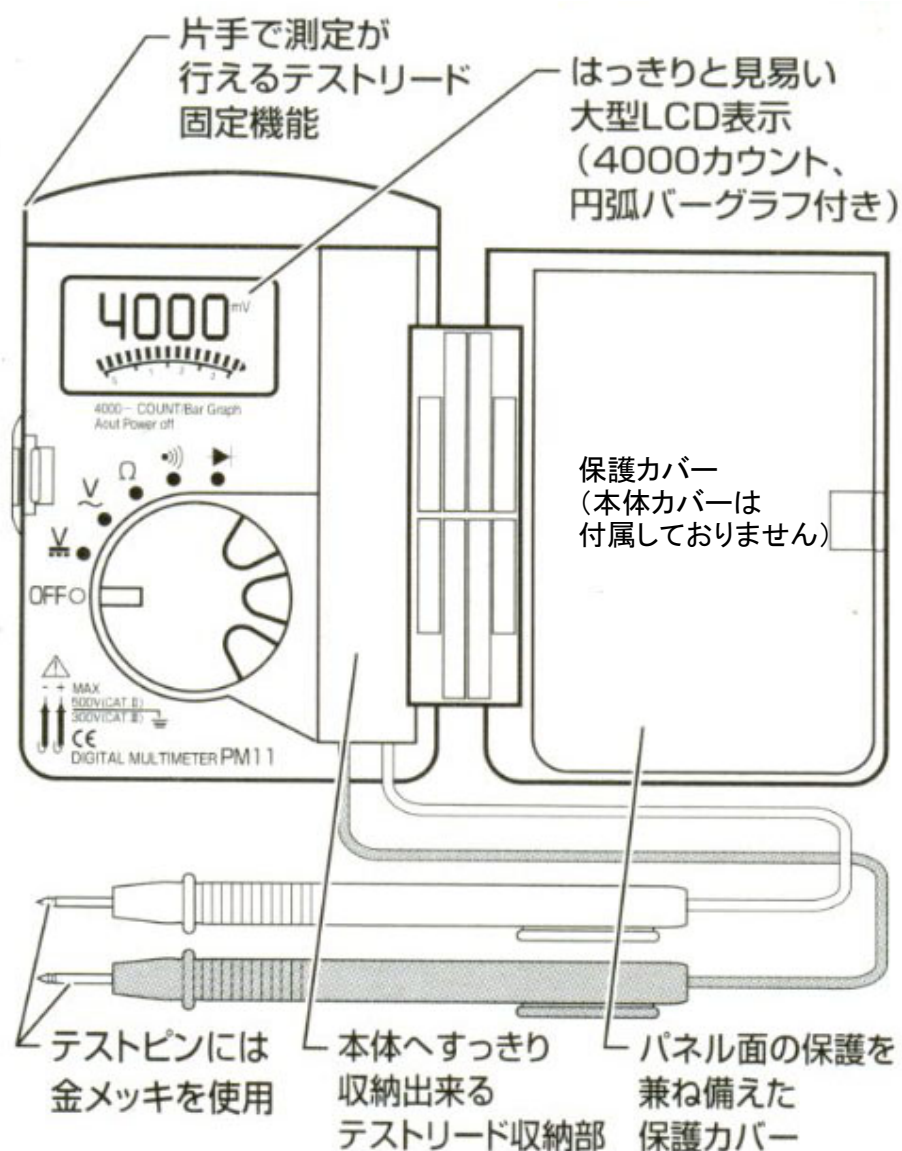
テーブルタップに電気がきているかどうか？

①ファンクションスイッチをV~に設定します。②テストピンをテーブルタップの電極に1本ずつ接触します。赤・黒のテストピンはどちらに接触しても構いません。③表示器に表示されている値を読み取ります。④約100Vを示していればそのコンセントに100Vの電気がきていると判断できます。

⚠警告：テストピンには絶対に手を触れないでください。



◆表示器



◆各部名称

